

3. 令和5年度みんなの人権・小地域懇談会のアンケート

懇談会では、意見交換の後にアンケートの時間をとりました。アンケートの結果と、お寄せいただいた感想及び意見を紹介します。

(1) 研修のテーマ（題材）について

(単位:人)

関心があった	関心を持った	関心を感じなかった
129 (36.5%)	181 (51.3%)	28 (7.9%)

未回答者 :15 人

(2) 感想・意見

◆今回のテーマ設定、運営方法等に関する感想・意見

○今回のテーマは大変良かった。

○テーマに沿った問題点を3点ぐらい提示してくれたら建設的な論議が出来たのでは。

○やはりこういう研修の機会は、必要だと強く思いました。今年度は、アンケート(人権意識調査)をとられるように聞いています。その結果をもとに、取り組みの具体的な方針をお願いします。参加者が少なく残念です。参加者が増える方法を考えましょう。

○テーマが良かった。

○インターネットでの差別の書き込みは見たことが無いが、他のことで誹謗中傷され自死されたニュースなどは見たことがあり、インターネットは怖いものだと思います。今年度の小地域懇談会のテーマは、自分には受け入りやすかった。今日は、地域の参加者多くて良かったと思う。

○差別も多様化する中で、インターネットを介した差別をテーマに開催された今回は話しやすく、スツとはいつてきた。情報(ネット)は3か月で古くなる、と動画でもあったように、最新の情報(インターネット)が得られ、良かったと思う。昔学習したが、今日も変わらない(悪質化している)と思った。

○インターネットでの問題など、多少は知るところがあったが、DVDでの川口さんの話は、内容的に分かる部分と、ずっと早口で分かりにくいと思う所も多かったように思いましたので、個人的にはゆっくりと話して頂けるところもあればと思いました。

○現状を知る機会になった。

○DVD視聴は、分かりやすい口調で、テンポも速く、たいくつしないDVDでした。講師さんは地区の方のようで、心の内とか自身の体験が聞かされて良かった。

○ビデオの内容が分かりやすく良かった。差別にはいろんな方面があり、すべての差別が無くなるという世の中は、人間のさがにおいてない、と思われる。

○顔を合わせて話をすることは、とても良かったです。これからも人と顔を合わせて話

すことを大切にしたいです。

○構造的な話を増やしてもらえるとより良いと思います。今回は具体的な事象が多い、という印象。

○他の参加者の意見を聞くことが出来、とても参考になりました。

○大変考えさせられる内容であった。

○大変良いお話を聞き有難うございました。

○話を聞いて大変良かったと思います。

○大変良い会であった。

○大変勉強になりました。

○DVDの内容は非常に分かりやすく、多くの方々に是非機会があれば放映されたら良いかと思います。

○良い話でしたが、大変難しい切口でした。

○今回の研修内容は、今までと違い踏みこんだ内容になって感心を持てた。

○同和だけでなく、いろいろな差別やいじめがあり、子供たちの自殺が起こっていると思うので、今回のテーマと合わせ検討することが必要です。

○ネットを使わないのでいまいち。

○よく解らないので関心を感じなかった。

○今更重く取り上げる話ではないと思う。

○「テーマ」を事前に知らせて欲しい。時間が短く、話し合いが深まらない。インターネットや SNS はとても身近であり、DVD の中の話でもあったように、便利な面もあれば、知らず知らずのうちに差別書き込みをしているかもしれません。

○非常に難しいテーマだと思いました。高齢の方には、少し訳の分からないテーマだったかもしれない、と思いました。そのウワサと言うのは、俗にいうゲナゲナ話というたぐいかな、と思いました。根拠のないウワサ話に簡単にのって、広めないと心に決めました。

○インターネットは利用しないので、年齢にあった会にして欲しい

○今回のテーマで何を意見交換すれば良いのか分からない。同和問題をどうとらえるか、人の数程答えはあると思う。

○DVD は早口で、理解が不十分に終わりました。もっとじっくりと見たいと思います。

○検討会の時間をもう少し多くとって欲しい。

○話のテンポについていけない。ゆっくり分かりやすいビデオの内容。

○テーマをもっと絞るべきではないでしょうか？

○インターネットで部落差別を上げるなど知りませんでした。

○話合いは難しいかな、と思った。

○身も蓋もない言い方をすれば、ネット炎上や誹謗中傷問題にしたほうが自身にも起こりえる問題として、より判りやすかったのではないかと、思います。問題点がぼやけた、

という感じ。

◆小地域懇談会の評価に関する感想・意見

- 大変分かりやすく観させてもらいました。出席者が少なく残念。
- 日南町の学びの機会をこれからも推待して欲しい。昔の体験をあえて話して下さることが、当時の誤解を振り返る機会となつてとても良かった。
- 短時間でしたので、深まりはあまりありませんでしたが、今後もこうした会を続けていきたいと思います。自治会での参加が少なくなっているのが残念です。
- ふだんはあまり考えたことも無いが、年に一回の研修は大変参考になった。毎年参加し、研修を受ける。私の会社においても。
- 宝谷の小地域懇談会に参加しました。人権同問題にしっかり向き合つて話し合われており、素晴らしと思いました。又小地域懇談会に参加していきたいと思います。学ばせていただきありがとうございました。
- 問題意識を持っている人が思っていたよりも多くて驚いた。自身の経験など話してもらえると内容もそれに伴つてより深い議論となるので、良い会だったと思います。
- 差別の怖さ・インターネットの誤情報の怖さは良く解りました。小地域懇談会は初参加でしたが、会の目的はよく解りませんでした。
- 同和問題について、これからは力を入れなくても良いと願っていましたが、トイレの落書き、鳥取は破談全国2位など知り、これはずっと続けていく必要があると思いました。ただ小地域での開催については、そろそろ見直しがあつてもいいと思います。
- ネットの使い方含めて同和問題の根幹を知る場がある事は、大切だと感じます
- この取り組みが少しでも広がればと思うのですが、なかなかです。どうしたら多くの方に関心を持ってもらえるのでしょうか。
- 今さらと言う気がします。もっと擬態的な話が、伝わらない。大人だけでの話会では、何も変わらないと思います。
- この様な研修は今後も必要と思います。(子ども学生だけでなく)
- 会員の参加を人数増し、差別についての学習する事。
- これからも続けて欲しい。
- 少数でありましたが、一人ひとり意見が聞けて良かった。正しい部落差別とは、なんぞや、というまとめの中で考えさせられました。参加者が少なかったので啓発に努めます。冬場夜は出にくい方が多い。
- 少人数でしたが意見もよく出ていました。年に一回でも意識して、研修を受けることで差別を見抜く力がついてくるのではないかと思った。
- とても活発な意見交換は、心強く感じた！
- 途中からの参加でしたが、勉強になった。
- 懇談会等に積極的に参加し、正しく学ぶことが良いと思う。

○全員の場では意見を言えなくて、上手く皆の意見をまとめられなかったかも知れないけど、共通して考える様な時間が大切だと思いました。

○研修に積極的に出ない人へは、どうやって教育していくべきか考えないといけませんね。

○身近は話だけど、毎年うかがっています。

○今後人権学習は続けて欲しい。

◆今回の懇談会で学習した感想・その他の意見

○net の使い方も便利だけどプライバシーや個人情報には気をつけたいと思います。

○デマをデマと知るまではそれは真実。心に残った。

○数えきれない情報を止めるのはなかなか難しいので、せめて気づくことができる知識をつけ、拡散しない、「いいね」をしない、事が大切と思う。

○DVD を観て差別についてより深く考えさせられました。時代が変わっていく中で、これから子どもを育てていく親としてもしっかりと勉強していくべきだと感じました。ありがとうございました。

○教育は大切。今後も継続して学習していくことが大切だと感じた。

○ネットで見たことはないが、こんなに多数あることにビックリした。インターネットの力は怖い！

○ネット上の差別書き込みが悪い方に「いいね」がついて、拡散することが本当に怖いと思った。

○インターネットという言葉の抵抗感や難しさもあるが、DVD の内容には共感される方も多かった。学びの機会への理解と、継続は重要であると思うが、機会の設定には協議も必要と思った。

○ネット社会の実態を知る。継続的に学ぶ必要だと思う。

○今回の DVD を見て、自分が気づかないうちに人をきずつける場合があるのは無知、無理解、が原因であると改めて感じた。同和教育に限らず、差別をしないために教育を受け続ける必要がある、法律で取り締まる必要を強く感じた。

○差別問題がインターネットでたくさん広がりすぎているのは、問題だと思った。

○インターネットによるこのような事が起こっている事に驚きました。今では止められているようですが、次々と新しい手口で、人権差別もそうですがネットを通して人を悪く言うなど、何にかしらもっと法的にバツがあると良いと思います。

○個人が道理をもって社会生活をする。

○関心は持ちましたが、私はインターネットも出来ません。だいたいには気を付けなければならない事と思いました。

○インターネット利用においては、若い人の利用が増える中、情報の発信の仕方を学ぶ必要があると思う。

○以前は、「寝た子は起こすな」の気持ちでした。ですが、今でも問題となっていたり、日南町でもあったという事を知ったりする中で、まだまだ学び続けなければならないと強く感じました。教育現場でもタブーにすること無く続けて欲しい。

○ネット差別の陰湿さや怖さを感じる機会になりました。何が正しいか正しくないか、常に学習する必要があると思います。

○インターネットの怖さを知りました。まだまだ勉強が必要だと思います。差別をさせない、許さない気持ちを持って学習したいです。

○ネット社会の怖さを思いました。自分に出来ることをして、正しい知識を持って行動したいと思います。

○インターネットは恐ろしい。私は、パソコンなど無縁の中で生きてきて、仕事の中で必要になったために、今更と思いましたが始めました。まだインターネットなど始める段階はないのですが、今日のDVDを見て怖くなりました。

○情報を判断するには、学習し正しいことを見極める必要があると感じた。

○インターネットが普及することは良い事であるが、使い方によってはとても怖いものと改めて感じました。何気無く発信したのが、大きな事件をまねいたり、人を傷つける事を意識している人は少ないかもしれないです。正しい情報を見抜ける力を付けたいと思いました。

○正しい情報かどうかの選択は難しいです。公の関係でそれを振り返ってくれるところがあるだけ(正しいものだけを載せる)でも難しい件ですね。

○私は、インターネットは疎いので見るだけです。書き込むことはありません。見て正しいかどうかの判断するのは難しいと思いますが、見たことを人に話さなくても、誰が書き込みをしたのかな、と思う所もあります。成人した子どもたちは、中学校でしっかり学習をしてきたので、良い悪いは誰も判断していると思います。かつてその子も、ネットの書き込みでずいぶん指摘をされて登校できなくなったこともあります。今はどうか分かりませんが、その時の辛さは覚えていると思います。今日はありがとうございました。当時を思い出しました。

○学校では、この問題をちゃんと勉強しているのか、私たちの小中の時は、学習をして覚えています、今の子どもたちはどうなのでしょう。すごく難しい問題だと思いますし、この問題は無くならないかと感じました。

○インターネット社会になって、間違っている事が拡散されるのが大変怖いと思っています。

○インターネットはやっていないが、正しく見極めることがしたい。

○インターネットを介した差別については大まかには知っていたが、川口さんが指摘された差別の助長のシステムを知らされてびっくりした。これらに左右されない正しい知識を早めに(「寝た子を起こして」)、教育の場で学習しておかないと、とんでもない事になると感じました。

- インターネットの現状を知る良い機会になったが、インターネットには疎い。
- 解放同盟の運動をしておられる方たちの心のジレンマを考えると心が痛い。差別する側の心理と、心の影の問題も考える必要があると思う。「寝た子を起こすな」の意味が変わってきているということに納得。ネットニュースは怖い、という事をしっかり覚えておこう。
- ネットでの人権関係の現状が知れて良かった。他の差別等でも、今後ネットに多く出てくると思う。
- 久方ぶりに同和についての話で、うん？と思った。スマホとかで色々出ているのか？、ちゃんともう一回勉強した方が良いのかな、子ども、大人も。
- 今の世の中では、インターネットは当たり前となっているが、同和についてのデマ、間違った情報が、あたかも正しい情報のように扱われていて驚いた。勉強になりました。
- ネットの投稿者が判明する仕組みを確立していく必要があると思う。ネットの規制強化。
- デマと分からないネットが怖い。
- ネットは便利だが、怖いものだとつくづく思いました。何か対策が必要ですね。部落差別の研修は久しぶりというか、色々思い出されました。今日の研修での話を伝えていきたいと思いました。コップの話はとても心に残りました。知らないままではなく、少しずつでも広めていきたいです。
- インターネットは使用するが、サイトについては見ようと思わない。
- 最後のコップのドロで納得！何度でもかき混ぜて透明になることを願いたい。
- ネットは一瞬にして良い事も悪い事も世界に拡散する。ネットの取り締まりが早急に必要なのは！
- ネット社会は便利な面もあるが、反面、悪用される事も多くある。最近では、闇バイトも多くみられる。
- 時代が変わってもインターネットなど新たな差別がある。子どもの時から教育が必要と思う。小、中学と学校での教育が大切と思いました。
- 学校教育の大切さをよりいっそう感じました。ネットの怖さについて。
- 終わりのない問題だと思います。便利になれば、指で押すだけで(何でもできるように、)考える事をしなくなるように思います。
- 間違った情報や切り取った情報が溢れている。情報の垂れ流しに耐える事が出来るように、正しい知識を知る事が重要だと感じた。
- 予想よりひどく、早いスピードで悪い情報が拡がっていく事に危機感を覚えた。
- インターネットに限らず、正しい情報をいかに見極めるか、本当に難しいとおもっている。(子どもや大人に限らず)
- 川口さんの歯切れのいい語り口で現実の問題が明らかにされて、問題は明確になりました。メディアづけになっている子ども達が、正しい情報を見抜く力を身に着けるた

めに何が大切なのかを考えさせられました。

○インターネットは、巧妙化かつ複雑化しているので、なかなか取り締まり等が難しいです。法律化もなかなか追いつかず、困難な問題と感じました

○新しい差別の手法(ネット差別)の実態が理解できて、良かった。知識のアップデートは必要だと思う。

○インターネットを利用する事があるので、情報をうのみにせず、何が正しいか、判断する知識をもたなくてはいけないと思いました。

○インターネットの質問に対するベストアンサーの内容はショックだった。正しい知識をもっておくことが大事。

○部落差別とインターネットが結びつくと、異常な状態になるという事がよくわかりました。

○インターネットの便利の良さとこわさを感じました。インターネットを利用して差別発言することに対して、規制を強くする方法がベスト。それと、人々に人権教育をして、意識を統一する必要があると思う。

○ネットの恐ろしさを認識した

○早口でよく分らなかったが、日頃のニュースでも、デマや真実でないことが拡散されているという事が言われているので、その怖さは感じている。

○色々な角度の視点から考える事が大切だと日頃から思っています。無責任な発言はしないですが、自分だけで正しいか、それを見極めることは難しいですね。人とつながる現実。この現実の大切さをよく思います。

○無知な人は、何が正しいかを理解できません。

○インターネットの普及により、人々の生活が便利になる一方で、極端な考え方が容易に集団を作るようになったことが、現在の差別をより先鋭化させている、と感じました。一度情報が出回ると、デジタルタトゥーとして残り続ける事については、大手エンジニ側のほうで削除するなどの処理ができるような世になって欲しい。

○差別の問題は昔からあり、詳しい事は分らないです。しかし、今の世の中は SNS で簡単に言え、またリアルで(人に)会わないから、悪口で人をたたくのが簡単になってしまったことです。

○ネットの差別書き込みがあるなど、あまり感心が無かった。とはいえ、今回感心したところです。中傷的な発言など、個人への人権侵害が少しでもないようになって欲しい。

○同和教育、部落差別の話をする事によって、知識の無かった人が知って、興味を持つかもしれない。このことが良い事か、悪い事なのかわからない。

○インターネットで情報が流れることはよく解った。それが正しい答えで無いかもしれない事も分かった。

○まだ部落差別という事が、インターネットで流れているというのを聞いて情けないと思った。

○インターネット社会の怖さや難しさを感じた。私自身も差別の気持ちはありますが、差別をする原因は何なのかは、いまだにわかりません。部落差別は無くなったとはおもいません。

○インターネット上での差別をなくそうと思っても、大変だと思うし、閲覧の段階で、自分の意志とは関係のないサイトに誘導されることもある。サイトの削除も誰かの努力が必要である。

○インターネットを正しく使える大人でありたい。だまされないように注意したい。

○一人ひとりが責任ある言動。

○今回の懇談会で、改めて学生のころから学習をしていて良かったと感じた。情報の正しさを判断できるような基礎は持っていたと思うので。

○インターネットでの問題が大きいのがよく解った。

○インターネットの情報を、いかに一人ひとりが判断し、適切に活用していくことの大切さを感じました。ギガスクール構想もあるが、まずは、一人ひとりの人間としての正しい認識を培う事が大切であると感じました。

○DVD の話し方が早口で分かりにくかった。

○人権について研修する必要があると思った。

○インターネットは使用していないので、これからの生活に不安を感じました。

○約20年前と人権意識が変わらず、今もある、と理解できた。正しい知識を得る事が大切であると思った。

○研修に参加して真実を求め、デマに惑わされないようにしよう。

○自分自身の考え方や、正しい行動が一番大切だと思います。

○何事にもリテラシーが大事。

○インターネットの怖さが分かった。

○ネット社会での情報の正しさや、誤った方向へ導く情報について、判断できる能力がつけれるように子どもへ教育して欲しい。北ヨーロッパの学校では、カリキュラムに含まれているようです。

○ネットの正、誤を確かめる必要を感じました。

○インターネット社会、自分の知らないところで、人に(自分のことが)全部知られてしまう怖さ。

○インターネットについて、老人の私達には便利さも分からないが、インターネットによる悪い事例、犯罪等を耳にする。インターネットは怖いものと意識しています。。

○自分の学習初期の認識では、「寝た子を起こすな」と、300年たって出来たものは300年たたないと良くならない、と思っていましたが、今回の泥水とコップの話を聞き(思い直して)、改めて(泥水とコップの例えのとおり)だと思いました。

○インターネットの情報を全て信用するのではなく、事前に自分でも情報収集する必要があると感じた。

○ネット上の差別や誹謗中傷はこの先もなくならないと感じました。そのため数ある情報の中から正しい情報を選択できる力を養うと共に、若い人々には同和教育の機会を与えるべきだと思った。

○インターネットは便利な反面、とても恐ろしいと改めて実感しました。今後のこれから子ども達には、正しい知識を持って利用して欲しい。また、それを伝えて欲しい。

○同和問題を受けてきた世代として、自分なりの知識で正しいこと・間違ったことの判断はできると思います。でも間違っていると思っても、それが間違っているという、正しい発信はできない。

○差別問題については、同和問題を含め、現在は、人の口よりもネットによる被害が広がり、以前の対策よりも一段と厳しい対応をしなくてはいけなくなってきた。高齢者にはネットにふれる機会はありませんが。

○DVDを見て忘れていた差別問題について改めて感じさせられた。今回の課題はとても良かったです。

○日常の生活の中で差別を意識したり、感じることはありません。DVDを見て、「あ〜、やっぱり差別はあるんだなあ」と思いました。

○ネット情報の2割は「ウソ」あるいは「差別」・「偏見」だと言われている。こうした小地域懇談会での学習がとても大事だと、つくづく感じる。

○人と人との関係がインターネットとなると押さえる事が出来ないのが怖いです。

○ネットの使い方しだいでは便利だけど、プライバシーや個人情報の取り扱いには気をつけたいと思います。

○(これまでの)差別をなくす教育の苦労が(水の泡のようで)、ネットにより拡散する時代になり、差別はなくすのは難しい。

○本音と建て前があると思う。

○差別も少なくなっていると思うけど、インターネットで広まると、また同じことの繰り返しです。

○対人であれば「ヤメ」と言えるが、インターネットでは防ぎようもないから怖い。

○勉強に成った。知ることが大事だと思います。

○インターネットは便利だが、悪質化してしまうと人間の心がダメになってしまうのではないかと思う。子どもたちには正しい教育をする必要があるのでは。

○ネットニュースには発信者の名がないの？誰が発信したニュースなのか、この人は本当のこと言っているのか、など自分自身で疑う心が大切なのかな、と思う。

○インターネットについては、やはり自分の意志をしっかり持って使用するべきと思った。

○本当の事が見える社会自身と言うものが、これからのネット社会などでは、大切になるのではないのでしょうか。

○同和問題を正しく理解して、自分の中で正しい道や考え方を持つ

○ネット社会における差別の特徴を知ることや、情報を扱う事の大切さ。

○この世に、こんな事があるとは思わない。

○昔は「寝る子を起こすな」、とよく言った言葉です。世の中が進むと、とても怖いと思いました。今日の話は聞いて勉強になりました。自分の言葉が人を傷つけているかも？よく考えてみたい

○DVD 中の部落問題は、今現在である。お互いの理解と正しい知識の足りなさを、もっと勉強していかななくてはならない！

○正しい知識、共有が大切だと思う。

○昔はこんな話があったのですが、今更と考えさせられました。

○インターネットは怖く感じた。

○最近、同和差別だけでなく、人権意識の低い日本を痛感している。便利なツールが逆に社会に害をなす、という皮肉な事になっていることに憂慮する。

○以前より、ネットで差別が増えたように思います。ネットで防止することを考えたら良い、と思います。また地域差別をする人もあります。

○改めて考えたい。

○今一度差別について勉強させていただきありがとうございました。何が正しいのか、自分は無意識に差別発言をしていないか、知識をしっかり持ち正しい判断をしていきます。

○ネット上の差別は、今日初めて知ったが、なくなる事はあるのだろうか？同和問題及び人権問題は、引き続き研修等で勉強していきたい。

○全国には今なお部落差別に苦しんでいる人がいる、という事に驚きました。学習はすべての世代に必要。

○久方振りの勉強会で、少し以前の考えていた自分に戻った気がした。学習会で学び、明日から自分がどう頑張るか、どう変わっていくのかが大切だと思った。

○話し合いの中で、重要な意見が聞かれました。

○今日のみんなの人権に参加して、ネット上での拡散が多い現実や、川口さんの話を聞いて、少しでも差別事象が世の中から減ることを願う。

○ネット上での差別は、利用者が増えたり、若年者(小学生)も使うので、問題が大きいと感じます。特に意識しないうちに差別したり、されたりすることがあります。

○DVDの内容が、自分が思っていたよりもインターネットでの影響力や怖さを感じた。情報モラルの人権学習は、子供も大人もしていかななくてはいけないと感じた。

○知らないことは本当に良くない事だと思った。

○差別が無い社会って、今まであったらどうか？、など考えてしまいました。人間である限り、差別はついてまわること？自分に余裕があれば、皆に優しくなれるのでは。

○インターネットの恐ろしさを改めて感じました。使い手の知識、倫理感にもよるが、知識・倫理の大切さを感じ、また、(差別的な書き込み等に対して)取り締まる法律も早期

に策定すべきと思った。

○インターネットの仕組みや、学び続ける事が大切。(インターネットを通じて)堂々と差別されることの恐ろしさ。

○情報が、正しい・正しくないかが個人に委ねられことは、インターネットの社会の怖さであると思いました。常に人との意見の擦り合わせをして、言動につなげていくことが大切であると感じました。

○川口先生の講演を以前聴きました。熱く語られる中、ご自身の消耗ものすごいと思います。差別をする人、又その情報をネットに揚げて、利己的な優越感や金銭的な利益を上げる人がいます。それは、それに同調する人や、そのことにお金を払う人がいるから増えていくのではないのでしょうか。加担者にならない様、学習を進める必要もあると思う。

○インターネットも怖い、TV も一方通行だからもっと怖いと思う。今、小・中では同和学習はしていないのでしょうか？

○部落問題から遠のいていました。DVD を見て、インターネットなどの怖さが身近に感じました。普段はあまり SNS などのネットは使わないですが、ネットを使うときは気をつけないと、と思います。

○今は「情報化時代」ではない、「情報過時代」だそうです。あふれ返る情報の中では、真偽を見極めることも困難になっています。難しい世の中だからこそ、常に問題意識を持つことが大事だと感じます。

○ファクトとフェイクの判断がつかないうちに容易に拡散しない事が大切。インターネットの書き込みなどで収入につながるような仕組みがあると聞いていますが、規制できないものでしょうか。要するに倫理感を持てる社会でありたい。

○ネットの怖さをつくづく感じた。人間のモラルの教育が大切だと思う。このままでは世界がつぶれてしまう。

○正しいもの、間違っただけの見極めが難しいので、勉強し続ける必要ありと感じた。ネットは便利である一方、怖いものでもあるので、使い方をきちんと学ぶことが大切。

○高齢者であるが、改めてネット社会の怖さを知った。正しいか誤りかを見分けられる学習が必要である、と改めて感じました。

○悪い情報を流す人には、厳しいバツの法律を作る必要。自分が判断する力を養う、という人がいるが、悪い人をなくすことが大切。利用する人に責任がある、という事には反対です。

○インターネットだけに頼らない知識を持つことが必要だと思った。

○ネットは便利だけど怖い。情報の偏りや発信した際の受け手の捉え方に色々ある、という可能性を考えないと思った。

○インターネットの情報だけをうのみにしないで、色々な方面から正しい情報を引き出す努力をしたい。

○ネットによる差別の恐怖を痛感しました。これから自分なりに差別を許さない、また差別を見抜く感性を養っていきけるよう努力していきたいものです。本日は勉強になりました。

○情報に対して正しい判断できるように知識を持つ必要が有ると感じました。

○ネット社会の中で、本当で真実の情報を見抜く力が必要になると感じました。小・中学生にネットに関する授業をする必要があるのではないのでしょうか。

○今回のテーマはインターネットの内容でしたが、なかなか難しい問題で差別以外にも様々な問題がある事を改めて感じました。

○職員の皆様、毎年参加されお疲れ様です。年1回の心の点検として毎回参加をさせていただいています。子ども達にネットの情報が真実なのか否を判断できる教育が必要だと強く感じました。

○デマを知るまでは真実・・・怖い気がしました。本当を見抜く力をつけるのは難しいなと感じました。

○一方だけの情報で判断するのは、良くないですね。読書で知識を増やして欲しいです。

○今回、インターネットで部落差別の書き込みがあるのを初めて知った。

○道徳の必要性(教育)が重要と思った。小学校低学年から教育を行うべきだと思う。

○インターネットの情報も要注意ですが、政治家の差別発言についての対応を見ると、今後も差別は続くと思われる。

○ネットの情報拡散の恐ろしさがよく解りました。法規制の必要を感じました

○今まで受けた内容と、現在の方向を知ることができて、新たな気持ちを持った。

○ネットの普及により悪意のある情報も増えていると思う。情報の善悪は、個人で判断するしかない。

○今回はこのような場が考えさせられる時間を与えられ有難うございました。住みやすい世界にする為に自分自身が良心に沿った生活が出来るように、色々な情報が飛び交う時代に真実を見抜く力が必要だと思った。

○アナログ時代の教育がしっかりしていれば、ゆらぐ必要はないと思うものの、インターネットで誤情報を発信する人の心が貧しくなっていると思います。インターネットを止めることは出来ないので、アナログ教育をしっかりする必要があるのでは？

○少しわかった。

○(このたびのテーマのようなことを)大人が(子どもに)教えているのかな。

○町の中でも今までに部落差別があったと思いますが、今後どうなっていくのか(60年ぐらいたっていますが)、今後なくなっていくのでしょうか(勉強会をして)。

○インターネットは、生活が便利になった反面、誤った情報により傷つく人が増えている。同じ人間同士、差別しないという気持ちを強く持って生活したい。

○勉強になりました。自分も気を付けたいと思います。

- 良く理解出来た。
- 便利になればなるほど新しい問題が出てきます。つとめて対応するしかありません。
- 今の時代の便利なものは、よけいに危ないことを知る。モラルの違いだと思います。
- (差別等をする人の)最初の人にならないことだと思う。
- 自分が正しいかどうか、判断する力をつけていく必要がある。一言で相手を死に追い込む事にもなるので、怖い事です。
- 言論や表現の自由を掲げるひともいるが、それに伴う責任がある事を理解すべきと思う。
- ウソをウソだとも抜ける人でなければ、インターネットを使う事は難しい危険であると感じた。
- 初めてネット上の同和問題を知りました。無関心でした。無関心ではいけませんね
- ネットが悪いというわけではなく、一人一人の意識によるものだと思うので、皆が正しいと思える学習を、国を挙げて行う必要があると思います。
- 無知、無理解、無関心であったことは、人ごとではなく反省しました。
- ネットの怖さを改めて感じた。システムの整備を進めて欲しい。
- 建て前があることや他人事があることは、仕方が無いけれど、いざ目の前で差別などあった時には、「それは違う」と言える自分に、自分だけでもそうなりたい。キレイごとを言うのはたやすいが、やはり普段からの教育だろうなあ。
- ネット社会の怖さを知り、それが差別につながらないような、社会づくりをしていきたい。
- ネット情報の拡散のスピードと、IP アドレス等を追跡する力では、拡散する方のスピードが勝つので、情報の正確性を判断する個々の力を磨く事も大切だと感じます。
- 最近では差別等を考える事が無かったが、今日の学習でいまだにこのような問題が残っている事を知り、学習を続けていくことが大切だと感じた。
- インターネットの情報発信の怖さを知りました。
- 自分のしっかりとした感覚を持って、フェイクニュース等をフェイクだと判断する力が必要。
- 昔に比べると差別は減っていると思う。
- DVD の情報は、2019年の情報とのことであり、古いものであると感じました。本年は人権について考える機会が多かった、と思う(ジャニーズや宗教2世～)。
- ネット情報について、それが正しいかどうか判断できる知識が必要と感じました。(自分は)無知である、と感じた時間でした。
- インターネットといえば、ある程度年配の方は関係ない、と思いがちだが、ネットに限らず、まだまだ理解が追いついてないのが現状だと思うので、「寝た子を起こすな」ではなく、何度でも「起こして」、理解を広めていくべきだと思います。
- ネットは見たこともしたこともないので、ネットの方はよく解らなかったが、川口さんみ

たいに、発信を続けることは大切だと思う。差別はあってはならないと思う。

○今回の勉強で大変勉強になりました。

○「人権問題は常に学習し続けなければならない」、という事が心に残りました。

○ネット拡散の危険性がさらによく理解できた。

○今でも「寝た子を起こしているのかな」と。インターネットの怖さ、すごいです。逆にそういう人の真意を知りたい。

○インターネットの検索を見る必要を感じない。今、本当に(今回の懇談会の内容のようなことが)起こっているのか、不思議である。

○最近のニュースで、ネット上での誹謗中傷のことを聞きます。個人を特定した攻撃をすることもあるようです。高齢である私たちは、取り残された感じですが、現実を知り、苦しんでいる人がおられる事もよく解りました。

○あまりインターネットを見ないけど、色々な情報が出回っているんだなと思いました。自分がしっかりした考えを持ってないと流されそう。

○本音と建て前が誰にもあって、本音(心の声)を吐きだしているがSNSなのかな、と思います。ネットに広告がつくというのも問題だと思います。

○(ネットが)不平不満のはけ口となっている。正しいものを選びとることは難しい。そもそも自分で考えたくないから(ネットで)検索をするので、(検索の結果が)自分の欲しい答えに寄っていく。

○ネット社会の怖さは感じていたところでした。皆さんにわかっていただき、うその情報がなくなるとよいです。

○差別のおそろしさ、正しい知識を勉強すること、ネットの恐ろしさ。感心を持たなくてはならない。

○正しい情報で意見を言えるようになる

○知識(同和教育)は必要。(知識を持つと、知識が)少なくとも考える機会を得ることになるので、煽動されることも予防できる。

○ネットの情報の正誤性を見極める力をつけないといけない。子どもたちの教育でも、そういった正しい情報を見極める力をつけさせるべきだ。本日はごくろうさまでした。

○ネット社会の特性として、匿名性や秘匿性はあるが、要するに人間一人ひとりの尊厳があるので、そこには社会人としての責任(社会性)は、当然必要になると思う。ネットを利用する限りは、誹謗中傷等があることを常に心得ないといけない、と思いました。

○古い人間がいなくなれば差別はなくなる?という意見があつたが、同和部落の本を出版したのが高校生と聞いて、(古い人間がいなくなっても)差別はなくなる、と確信した。

○ネット社会の情報が溢れすぎて正直怖い。

○小学生と関わる事が多いが、子どもたちは、「何が正しいのか、何が必要なのかしつかりと判断できるには?」、「間違った情報を平気で流す人の心理は?」を教えたい。

○自分は機械と向き合うより、人と向き合いたいと思うが、そういう世の中でもないですね。でも、そうだからこそ人のつながり、人と会い、会話をすることを大切にしないといけない、と感じました。

○日頃からの学習が大切だと思った。正しい判断が出来る知識を持っていきたい。

○インターネットがある限り、差別書き込みは無くならない。

○時代の流れで便利になった反面、自分の考えをしっかりとって生活していかなければいけない時代に入って、人と人のつながり等がより大切になってくる時代になっている、と通感します。年に一度でもこの様な知識を身に付けさせて頂いてありがたいです。

○残念ながら、(差別は)無くならない

○昔は部落差別があったけど、今は何も無いと思います。

○今回は、とても関心を持ってよいお話を聞くことが出来きたと思います。私が生まれたところにも大きな地域差別をするところがありました。でも、今はとてもいい感じになっていて驚きました。

○時代の流れで、ひと昔前の学習ではダメである事を強く感じた。「身の周りで差別事象が無いから、差別は減ったんだ!」、「無くなったんだ!」、じゃなく、学習し続ける事がいかに大切かと強く感じた。

○「差別をやめましょう」が、すでに差別ではないか?

○ネット上で起きていることは、決して非現実的ではなく、現実的な問題として、大きな影響を与える。果たして私たちはこれと対峙していくのに、何が必要なのか。知識が無く、経験も持たない子どもたちは、何を基にして対峙していくのか? 本当によく考えなければならない。

○10年前からインターネット差別は大きく取り上げられました。あれから10年たったころですが? やはり一人歩きする。ネットの社会は恐ろしいと思います。学校教育が昔から大切です。25年以上前から、PTA の勉強も大切であると活動してきました。今はどうなっているか? 日南町の学校教育として、しっかり考え、子どもとその家族も足なみをそろえて考えていただきたいと思います。

○ネット差別や色々な勉強会に、役場の人たちがもっと出席してほしい。

○推進委員の皆様、お疲れ様です。

○まだ差別事象ある事が残念である。参加人員が少ないのか、興味が無い。

○色々な問題を他人事ではなく、自分事として考えたい。一方的ではなく、双方の意見を聞き入れられる柔軟な自分でいたい、と改めて思いました。

○同和教育が現在は学校で行われる機会がなくなっている、と聞き驚きました。ネットをこれだけ使用する人が増えている中では、やはり正しい教育(情報の正確さ)が改めて必要と感じました。DVD の中で、「コップの中のドロの蓄積→かき混ぜると、にごる」という言葉は、心に残りました。やはり、こうやって学ぶことは必要ですね。

○この会に参加していない人は、自分事と思わないからだと思うので、特に若い方の

参加を望みます。

○思想の自由とか言論の自由は、他者の人権を侵害してまで認められるものではないと思う。同和教育が後退して、学校の教師も、生徒も、保護者も人権感覚が後退しているのではないかと。最近、政治家を含め、人間が劣化しているように思い、その関係があるように感じている。

○小学校の時に人権教育の事を知りました。(人権教育を)小学校時代と高校時代に知るとでは、教育的にはどちらが良いのでしょうか？

○学校で差別の学習をして、こんな事があるのかとびっくりした事がありました。

○毎回考えさせられます

○いまだに差別があるなんて、悲しい事です。

○学習した後どう行動するか。知ることも大事だが、その先について考えたい。

○教育した方がいいのか、悪いのか、はっきり分かりません。いい方面と悪い方面があると思います。

○勉強することは大切である、という事を強く感じた。人と人のつながりの大切は日頃より思っているが、また一段と認識できました。

○一般的に一言でいえば、学校教育の段階で「差別は駄目」の精神を、心底から理解できるよう教育すべき、また、学校教育の前に家庭教育の重大さを思いました。

○関心を持たなかったのではなく、無視をしていました。同和については身近に事例が無かったのだ。

○会合(小地域懇談会)の中で、あまりにも差別という言葉が多いと思う。

○差別がある事は良くない無いので、無くなったらいいと思います。

○同和問題をはじめとする様々な人権侵害が多くみられるが、罰則をとまなう法律はできていない。昨日、TVをにぎわしている国会議員による、「多様性」というワードで語られるおそまつな発言や、お金にまつわるニュースでの釈明を見ると、あまりに認識がおそまつすぎて、このような認識の方々だから、(様々な問題を)解決しようという強い働きが出来ないのだ、と情けなくなる。しっかりして欲しい。

○人と人の関係がインターネットとなると押さえる事が出来ないのが怖いです。

○就職差別、地名総鑑廃止

○最近、デジタルネイティブ世代以外(40～60代)の炎上が目立つ気がする。今までインターネットに触れてこなかった人々は、インターネットとの付き合い方が分からない部分がある。皆さんにも当事者意識を持って考えて欲しい。

○普段からSNSに(誹謗中傷があることをなど)実感している。勉強や研修が必要。

○私は、インターネット使ったり見たりはしませんが、毎日ニュース、他を見て大変便利が良いなと思いますけど、大変怖い事だと思って見えています。

○今までタブー的な内容で、本音で話す事は無かったが、教育の継続性が必要だと感じた。

◆他の人権課題に関する意見

○誤った情報、誤った知識が一人歩きをしている様だ！インターネットは便利ではあるが怖さもある！今はあまりにも人権問題が多いと思う。男性から男性への性加害問題！アイヌ問題！

○身近な生活の中にある問題を取り上げて欲しい。

○人権教育を同和教育のみに終始させるのでは良くないと思う。社会全体の差別意識を問題にすべき。

○身近の生活の中にある問題を取り上げて欲しい。

○部落差別のみではなく、道徳的な面(部落問題も含む)を、学校や家庭でも話合う機会が必要。

○LGBT 等の方で、例えば男子トイレに豊胸な男性が入ってきたときなどの対応。考えることがあります。

○「ヘイトスピーチ」など、ひどいものが多い。やはり性善説やモラルだけでは解決しない。法整備を急いでほしいものだ。

○道徳の必要性(教育)が重要だと思った。小学校低学年から教育を行うべきだと思う。啓発教育は、持続性をもって続けてほしい

◆ドキュメンタリーDVD「荒野に希望の灯をともし」のプログラムでの感想・意見

○中村医師の生き方は本当に素晴らしい！しかし我が家では、そこまでできないが、ほんの一部でも参考に出来ればと思う。

○中村氏は、医療だけの人物であると思っていたが、医療以外で人々を助けことで、平和に繋げることができる人であると、知った。一般市民の寄付金にも驚いた。(素晴らしい国だと思った。)

○平和とは、生きるための戦い(人権差別ではない)。

○自分には何が出来るか、ビデオを見て悩みます。

○私たちの知らない所で、すごい事が行われていたのだと感じた。

○感動しかない。

○「不毛の地の再生」という発想の実践、中村哲氏の行いに感銘を受けた。